

風評被害を吹っ飛ばせ①～産地の信頼と販路の回復・拡大（県外版）～

放射性物質の影響による価格低下に苦しんでいた原木しいたけについて、当部では風評被害払拭のため、生産者と連携して販路回復や安心・安全なしいたけのPR活動を行っています。

1 イトーヨーカ堂「いわてフェア」

10月18日、いわて原木椎茸生産者の会と共に標記フェアに合わせて原木しいたけのPRを行いました。

埼玉県と東京都の合計5店舗で女性の生産者がお揃いのエプロン（地域経営推進費で製作）を着用し、試食を提供しながら対面販売を行いました。



対面販売を実施した生産者

今回参加した生産者は消費者の購買動向を直接実感し、生産意欲の向上につながったようです。

この取組により、平成24年度には24店舗だった取扱い店が平成27年には3店舗拡大し27店舗となったほか、24年度に比べて平成26年度は売上も20%以上増加するなど、震災前の取引実績まで回復しました。



イトーヨーカ堂での試食販売の様子

2 いわたの食ミニ商談会 in 東京

10月22日に東京都千代田区のKai Houseにおいて開催された標記商談会に参加し盛岡地方産の原木しいたけのPRを行いました。

来場者は飲食業や料理研究家等約140名。ここでは生しいたけの塩焼きの他、乾しいたけの試食も提供しながらDVDやパンフレット等の普及資材を活用し商談に臨みました。

今後も販路拡大に向けたPR活動を継続し、産地の信頼を高めていく予定です。



Kai Houseでの商談会の様子